

# 株式会社三工光学

眼鏡枠産地の鯖江でも珍しい企画、生産、販売までを、一貫して自社で手がける。



## 株式会社三工光学

本社：鯖江市北野町2-13-12

設立：1976年1月

代表者：代表取締役社長 三輪 英樹

事業内容：眼鏡フレームの企画・デザイン・

製造・国内外への販売

資本金：1,500万円

従業員：80名

TEL：0778-52-0353



<http://www.sankogaku.co.jp>



Q 仕事以外の活動も盛んなようですね？

社員の間で自然発生したバドミントンやバレーボールなどのスポーツチーム、レクリエーション活動が盛んです。ママチャリ耐久レース大会には、社長も交えたチームで参加しました。毎年恒例の社員旅行、納涼祭、忘年会は、「これが楽しみで会社に来ているのでは?」というくらい盛り上がります。この前の社員旅行は、女性陣の希望を取り入れて、県外のバウムクーヘンが美味しいお店に行つたんですよ。仕事以外の交流が出来るいい機会になっています。

A 先輩方の仕事内容と、この会社を選んだ理由を教えてください

「デザインを提案していく部署です。入社1年目なので、今はCADで部品の設計図などを描いています。大学ではグラフィックデザインを勉強していましたが、地元で就職するなら眼鏡がいいと思って選びました。眼鏡のこともCADのことも何も知らないで入社したので覚えることが膨大ですが、もう少ししたら楽し

み立ても早く行えます。

手がけています。鯖江には眼鏡枠の会社がたくさんあります。現在生産量の約3割が自社ブランド、残りはOEM生産です。自社ブランドは、素材を厳選しているのが自慢で、主力ブランドは技術力の高さをアピールする役目もあります。「モンブルー」というブランドは、ろう付けがほとんどないフレームなので、強度に優れ、組み立ても早く行えます。

Q 仕事を担当しています。出来上がったフレームが図面通りになっているかを検証する仕事です。調整は手作業で、金属の特性を熟知していないと難しいのですが、入社して4カ月、最近少しスムーズに出来るようになってきました。ものづくりが好きでこの仕事を選びました」（企画課 藤田麻衣子さん）

「仕上げ調整を担当しています。出来上がったフレームが図面通りになっているかを検証する仕事です。調整は手作業で、金属の特性を熟知していないと難しいのですが、入社して4カ月、最近少しスムーズに出来るようになってきました。ものづくりが好きでこの仕事を選びました」（第二製造部 林直人さん）

## 取材 Report



## 2 未来の眼鏡フレーム？



情報機器ともコラボレーション。アメリカのウェアラブル端末会社と共同で、端末を装着できる眼鏡フレームを開発した。



清新なデザインで擦れにくいフレーム、新素材でかけ心地抜群のフレームなど、魅力的なアイデアを高い技術力で製品化。

## 1 技術力をアピールする自社ブランド

← 三光工学の  
ココがすごい！

